

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習 I Medical coding I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	((医療事務技能審査試験対策))	メディカルークラークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療事務論基礎、ICDコーディング I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堀口 智栄子	非常勤講師室	月・木の9時から16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書 (レセプト) の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。				
授業の目標				
①基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 ②カルテの記載要領を把握できるようにする。 ③カルテから診療報酬明細書 (レセプト) が作成できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習問題を中心に、ピアインストラクションやケースメソッドを活用し、診療報酬請求事務の知識及び実践力の習得を図る。				
学習の成果 (学習成果)				
①診療報酬制度を説明できる。 ②医療用語や医療従事者の業務を説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・保険診療の概要①			
第2回目	保険診療の概要②			
第3回目	初診料の算定			
第4回目	再診料・外来診療料の算定			
第5回目	医学管理等の算定			
第6回目	在宅医療の算定			
第7回目	投薬料の算定① (内服薬等)			
第8回目	投薬料の算定② (外用薬等)			
第9回目	注射料の算定① (皮下筋肉注射・静脈注射等)			
第10回目	注射料の算定② (点滴注射・その他の注射等)		(小テスト I)	
第11回目	処置料の算定① (150点未満の処置)			
第12回目	処置料の算定② (150点以上の処置)			

第13回目	手術・輸血・麻酔の算定① (6歳以上のケース)
第14回目	手術・輸血・麻酔の算定② (6歳未満のケース)
第15回目	手術・輸血・麻酔の算定③ (時間外当のケース)
第16回目	手術・輸血・麻酔の算定④ (年齢加算・時間外緊急加算重複算定ケース) (小テスト II)
第17回目	検査の算定① (生化学的検査 I)
第18回目	検査の算定② (生化学的検査 II)
第19回目	検査の算定③ (その他の血液検査)
第20回目	病理診断の算定
第21回目	画像診断の算定① (X-P/造影剤使用ケース)
第22回目	画像診断の算定② (CT/MRIケース)
第23回目	リハビリの算定① (一般的ケース)
第24回目	リハビリの算定② (脳血栓・運動器等の早期リハビリテーション加算等のケース)
第25回目	その他の算定① (精神科専門療法等)
第26回目	その他の算定② (放射線治療等)
第27回目	演習問題 I (診療所・外来)
第28回目	演習問題 II (診療所・入院)
第29回目	演習問題 III (一般病院・外来)
第30回目	演習問題 IV (一般病棟・入院)

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	基礎知識を理解し、授業に積極的に取り組んでいる。出された課題を準備して授業に臨んでいる。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

医療事務医科テキスト1~4 (ニチイ学館) 医療事務医科スタディブック1 (ニチイ学館) 医療事務医科ハンドブック (ニチイ学館)
診療点数早見表 (医学通信社)

履修上の留意点・ルール

メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。
電卓を必ず用意すること。